



市長 この曲を聞いた時、レコーディングの時、どんな感じでしたか。

松原 とてもノリが良く、本当に弾んでいる感じがするのでしょうか。それぞれ旧市町村の思いが歌詞の中に出てくるので、間違えないように、しっかり歌わなければいけないと思いましたし、明るくて、皆さんが笑顔になれるような音頭だと思いました。

市長 松原さんの明るい声が、本当に皆さん踊りやすいとおっしゃっています。

松原 本当ですか。うれしいです。

市長 山崎さんはどうですか。

山崎 少し早口になるところがあり、その部分が大変でした。でも、最後の「津う津々浦々」とか、ものすごくノリが良くて、昨日もフェニックス通りで、市長とも踊りました。



市長 昨日は市民総踊りでした。いつもは津音頭と高虎音頭を踊りますが、旧津市以外の方もたくさん参加されています。その方々とも新しい音頭はいいねっていう話になって、踊ってみました。いつの間にか山崎さんが、私の後ろで踊っていましたね。

山崎 ものすごくノリノリなんですよ。

松原 山崎さんとも、レコーディングが終わって、他のお仕事の現場で一緒になると「津う津々浦々」って、二人であいさつ代わりに歌ってましたよね。

市長 「津う津々浦々」のところ、両手を合わせて斜め上に突き上げる振り付けが、とてもお気に入りです。特に踊りをする人は、こういうアクセントがいいんですかね。

山崎 珍しいですよ。こういう振り付けって。

松原 昔のゴーゴーのような感じですよ。

市長 ツイストの要素もありますね。

松原 いろんな踊りが交じっていますね。

市長 昨日、私より少し年上の方に「市長、もっとお尻を振って」と声を掛けられました。

独特の振り付けがアクセント ノリが良く踊りやすいと好評

松原 振りが足りなかったのですね。

市長 この振り付けをしたのが西川千雅かず まささんといって、日本舞踊五流派の一つ「西川流」の家元です。もちろん古典舞踊から盆踊り、そしてミュージカル、現代ダンスといろいろと手掛けられています。松原さんも踊られましたか。

松原 まだ、踊っていないので今回ぜひ参加して踊ってみたいと思います。

市長 山崎さんは踊ってみてどうですか。

山崎 これは覚えやすいですよ。

松原 可愛い踊りなのでお子さんも一緒に踊れますね。大勢の皆さんが踊ってくださるといいですね。

山崎 いい感じで皆さん笑顔になっていましたよね。それも最高！

市長 各世代の皆さんが踊れるということも、ポイントになったようで、あまりにもゆっくりすぎたり、速すぎたりすると、どちらかの世代が踊れなくなってしまいます。これまでの津音頭よりも、いろいろな振りが入っていて、少し難しいという方もいますが、覚えたら楽しいという方もいて、さまざまなお見解があります。でも、昨日は少なくとも皆さんノリノリでした。

山崎 ノリノリで、2、3回目で完璧でした。

市長 踊っている方々から「市長、もう1回、お